

死亡事故
リスクを

ゼロ

へ。

ガス系消火設備の歴史を変える。

ガス系消火設備では、有毒ガスの誤放出により人命に関わる事故が起きていました。
そこで人体に無害なカリウムを主成分とした「ケースモークガス」を開発。
世界初[®]の技術で、火災だけでなく、誤放出の危険からも人々を守ります。

人体に無害なガス系消火設備

K/SMOKE GAS

消防法第17条第3項に基づく大臣認定（ルートC）の手続きを進めております。
※消火設備として、世界初、人体に無害なカリウムが主成分の消火薬剤を使用

K/SMOKE GASに関する詳しい情報はこちら

K/SMOKE GAS

検索



Y | MAGAZINE

防災をもっと身近に… 2024

no.226



～YP-Message～



美味しいキノコの不思議な力



実りの秋。おいしい食材が豊富な季節で、キノコ類もそのひとつ。秋が旬のキノコは、「まつたけ」「まいたけ」「しいたけ」「しめじ」が有名です。スーパーなどでいつも売られているしいたけは菌床栽培されたもので、本来の旬は春と秋の2回。年中手に入るしめじも同じく菌床栽培されたもので、ブナシメジという種類。天然の本しめじは、9月から11月頃が旬です。

旬にかかわらず、私たちに馴染みのある食用キノコとして思い浮かぶのは、せいぜい10種類くらいではないでしょうか。しかし、日本には約5000種類のキノコが存在していて、食用キノコだけでも約100種類あるのだとか。そして世界中に存在するキノコは数万種類とも100万種を超えともいわれています。山歩きをしていると、木の根元や落葉の陰にいろんな形のキノコを発見しますが、名前がわからないものがほとんどです。おいしそうに見えるキノコもありますが、毒がある種類も多いので迂闊に食べるのは危険なのが残念。

キノコは菌類で、動植物とは異なる生物です。栄養の摂り方によって「腐生性キノコ」と「菌根性キノコ」に大別されます。「腐生性キノコ」は、落葉や倒木などを分解して栄養分として利用するもの。これによって倒木や落葉は土に戻ります。山や森のお掃除をして、土壌を豊かにしてくれているというわけです。「菌根性キノコ」は、植物と共生しているキノコ。地中に張り巡らせた菌糸を樹木の細根に伸ばし、チッ素やリン、カリウムなどの養分を吸収し、逆にキノコからも植物にそれらの養分を届けています。キノコが媒介となって、健康な樹木から弱っている樹木に養分を運ぶこともあるのだとか。私たちの目に見えない地中には、木の根や菌糸のものすごいネットワークが張り巡らされているのです。小さなキノコも自然の循環に組み込まれた大切な一員なのだと思うと、愛おしく感じます。滋味あふれるおいしいキノコをいただきながら、山の木々にも思いを馳せてみてください。

それでは今回も、Y-MAGAZINE・秋号をお楽しみください。

CONTENTS

- 01 **YP-Message**
美味しいキノコのお不思議な力
- 03 **防災ホットレポート**
大阪大手前ビル
- 07 **製品紹介**
強まるPFAS規制 / 規制によるヤマトプロテックの取組
- 09 **ゆるっとアウトドア防災術**
キャンピングカーの種類を紹介
- 11 **製品紹介**
K/SMOKE GAS
- 12 **ニュースプラス1**
ヤマトプロテック製品がガシャポン®に！
ニュースプラス2
“国際物流総合展2024”に出展しました
- 13 **イロハヒケシ**
現代の消防署につながる「火消」の歴史
- 15 **九星気学×ヤマトプロテック製品**
BOSAI9占い
- 16 **南久美子のほっ！とワールド**
- 17 **VOICE MAIL**
- 18 **Quiz Y-Town**

OSAKA OTEMAE BLDG. 大阪大手前ビル



ヘリポート



テレビ大阪



ダブルツリー by ヒルトン大阪城

—「大阪大手前ビル」の施設概要を 教えてください

「大阪大手前ビル」は、地下1階から地上21階まで延べ面積約38,800㎡の高層複合ビルです。1～4階にはテレビ大阪本社が、6～20階にはダブルツリーbyヒルトン大阪城が入居しています。



ダブルツリーbyヒルトン大阪城 柴様



テレビ大阪本社と
ダブルツリーbyヒルトン大阪城が
入居する「大阪大手前ビル」に
数々の消火設備を納入。

2024年5月、大阪市中心部大手前のリバーフロントに、
高層複合ビル「大阪大手前ビル」が誕生しました。
大阪城公園の玄関口として
メディア拠点と観光拠点機能も担うこのビルに、
ヤマトプロテックの特定駐車場用泡消火設備、
スプリンクラー設備、消火器、
移動式粉末消火設備を納入しました。

TELEVISION OSAKA



スタジオ



調整室

—昨今、自然災害が増えていますが、「大阪大手前ビル」ではどのような防災対策を行っていますか？

テレビ大阪とダブルツリーbyヒルトン大阪城は受電を別にしており、それぞれに発電機を設置することにより電力供給対策を行っています。不測の事態で万が一どちらかの電力供給が止まった場合も互いに電力を補い合い、災害時にも安全に避難できる備えです。

—施設を管理するにあたり、特に気を付けていることはありますか？

様々な利用目的がある複合施設であり、互いに共有している設備があります。その為テレビ大阪とダブルツリーbyヒルトン大阪城それぞれのエンジニア・セキュリティが毎日集まり、ひとつのビルとして統括的な管理ができるように日常点検を実施しています。



ポンプ室



消火器



大型消火器



流水検知装置

—ヤマトプロテックが採用されたきっかけや、弊社に対してのご要望はありますか？

建築会社からのおすすめで設備導入に至りました。ヤマトプロテックには信用と信頼があると感じています。昨今、昔では考えられない災害が起きていることから、建築を含めて設備の進歩で安全な技術を提供してほしいです。また、建物自体も高層化・複合化しており多岐に渡る用途があるため、ひとつの災害から2重、3重災害を引き起こさないように、設備面での安全対策を強化してほしいと思っています。

DoubleTree by Hilton Osaka Castle



ラウンジ&バー SEN (舟)



キングプレミアムスイートルームキャスルビュー



SPヘッド



SPヘッド

熱感知器



ロビー



CXヘッド



地下駐車場



空調機械室



CXヘッド

今回納品した設備

- 特定駐車場用泡消火設備「CXシステムⅢ」
- スプリンクラー設備
- 消火器
- 大型消火器
- 移動式粉末消火設備

編集室

それぞれに管轄が異なる複合施設でありながらも、ひとつの建物として協力しながら安全対策を行っていることが分かりました。複雑な条件下においても安全が担保されるよう、弊社設備機器を通して安全対策に貢献していきたいと感じました。



移動式粉末消火設備



流水検知装置

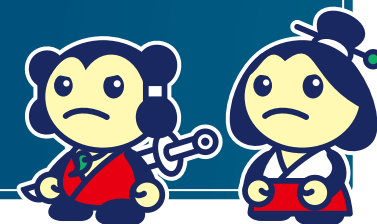


強まる PFAS 規制 ※2024.9.5時点

PFASとは

有機フッ素化合物 (PFAS) は、水や油に対して高い耐性を持ち、熱にも強い特性から広く産業製品に利用されています。しかし、昨今はPFASの人体・環境への有害性が問題視され、国際的な規制が強まっています。

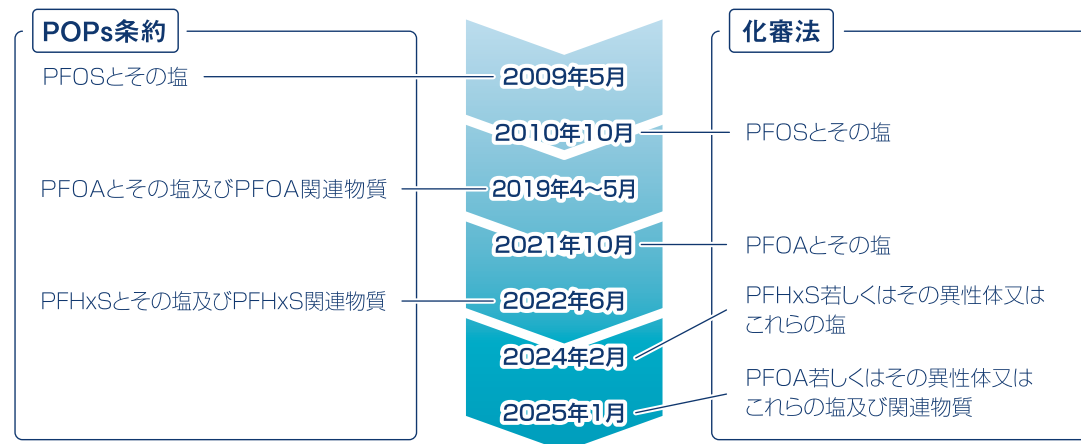
*PFASは、一部強化液 (中性) 消火器・機械泡消火器や泡消火薬剤にも含まれている可能性があります。



日本を含む186カ国が締結しているPOPs条約で、PFASの一種であるPFOS・PFAS・PFHxSが規制の対象となり、日本国内では化審法にて第一種特定化学物質に指定されています。2024年7月には「PFOA若しくはその異性体又はこれらの塩および関連物質」が、第一種特定化学物質に追加されることが公表されました。

POPs条約 (正式名:ストックホルム条約) とは、環境や人体に悪影響を及ぼす可能性がある特定化学物質の製造、使用、販売、輸出入を規制または禁止する条例。

PFASの規制開始時期



規制によるヤマトプロテックの取組

PFASを一切含まない 強化液 (中性) 消火器 YFX-3

消火器は、あらゆる人の生活環境と密接にあります。当社は、より安心・安全に消火器を使用できることを目指し、PFASを一切含まない消火器『YFX-3』を開発しました。



Zero Fluorine

YFX-3の特長

PFASを含まない薬剤を使用しているため、PFASに関する規制の対象になりません。

YFX-3はSDGs (持続可能な開発目標) の11、12、14に貢献すべく開発しました。

製品仕様

総質量	約5.8kg
薬剤量	3.0L (3.56kg)
全高	約51cm
全幅	約18cm
放射時間 (20℃)	約51秒
放射距離 (20℃)	3~5m
能力単位	A-1・B-1・C
使用温度範囲	-20℃~+40℃

アウトドア

ゆるっと防災術 Vol. 24

こんにちは。あんどりすです。10月に入り季節は秋ですが、まだ残暑の気配が残っていますね。台風も気になりますが、8月に「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が初めて出されたのは記憶に新しいと思います。今回は「注意」情報でしたが、「警戒」情報では「津波からの避難が間に合わない一部の地域では1週間の避難を継続」することが求められます。1週間、どこに避難しますか？ こんな時、キャンピングカーに助けられたという声があったので、今回はそのお話をしたいと思います。

いろいろあります キャンピングカーの種類を紹介

まず、皆さんのキャンピングカーのイメージはどんなものでしょう？ 実は「キャンピングカー」と呼ぶのは日本だけなのです。世界的には「レクリエーションヴィークル（RV）」と呼ばれ、「がっつりキャンプ！」というよりも「ゆったり旅を楽しみ、余暇を満喫するクルマ」として認識されています。実際に使っている方は、「のんびりペットと旅行するために使っている」とか「きれいな景色の横で仕事しながら使ってる」という話をされていて、「無理せず頑張らず楽しめるから」というニュアンスが強いと思っています。

そして、キャンピングカーの種類も増えてきました。大きく分けて8種類あることをご存知ですか？「フルコン」「バスコン」「バンコン」「キャブコン」「トラキャン」「軽キャンパー」「ルーフトップテント」「トレーラー」の8タイプがあります。とりわけ「キャンピングカー！」と、見てすぐわかる王道が「キャブコン」タイプです。トラックをベースにして、住居部分がカタツムリのように

載っています。広さも十分で、常設ベッドやキッチン、エアコンを備えています。普通車よりも断熱性が高く、エンジンを切ったエアコンを長時間つけることもできます。暑さ寒さに強いのです。



写真提供：株式会社ナッツ
トラックをベースとしたキャンピングカー「キャブコン」タイプ。

また、専門のビルダーが製造するフルコンバージョンの「フルコン」タイプだと、豪華ホテルが走っている感じです。内装もラグジュアリーでトイレ、シャワーも標準装備。

逆に外観はハイエースなどのバンや軽トラックだけれども、内装がキャンピングカーという「バンコン」「軽キャンパー」タイプはその手軽さで人気上昇中です。



スタイリッシュな「バンコン」タイプの内装。



「軽キャンパー」タイプの設備。
シャワーも使用可能です。

いざという時の避難スペースとしても活躍

そんなキャンピングカーたちですが、能登半島地震でも役立っていました。エアコンで暖を取る、キッチンで温かいものを食べる、安全な場所まで移動などができるので「キャンピングカーがあって助かった」という声がありました。

避難所で集団生活をするのが難しい方にとっても、キャンピングカーは心強い存在です。展示イベントでは、多くのペット連れの方や車椅子の方が見学されているのが印象的でした。

また、被災地以外の自治体が職員を派遣し被災自治体を支援する制度があります。能登半島地震でも応援の自治体職員がすぐ駆けつけました。でも、宿泊施設が被災しているため泊まる場所がありません。そのため、市役所の廊下に寝袋で寝ていたという過酷な状況がありました。そんな中、（一社）日本RV協会が石川県からの要請を受け、支援車両の募集を行い、集まったキャンピングカーが輪島市、珠洲市への応援自治体職員の宿泊施設として稼働しました。



写真提供：（一社）日本RV協会
キッチンとベッドが標準装備されている被災地支援にも使われたキャンピングカー。

その結果「横になれるベッドがあるため安眠できた」「女性支援者の着替え場所として活躍した」という声も聞かれました。

レンタルで試乗体験や 企業が購入するかたちも

でも、「そりゃあ、キャンピングカーは便利だけど、なにせ値段が……」というのが多くの方の感想ではないかと思います。そこで、まずは「レンタルで避難訓練のつもりで体験してみる」というのもお勧めです。繁忙期でなければ1日2万円ほどでレンタルされていて、人数によってはホテル代より安く済む場合があります。

さらに、企業が節税対策として購入することもあるそうです。新車で4年、中古は1年で減価償却でき、社員の福利厚生として使うだけでなく、使っていないときはレンタカーとして提供すると利益も生むという仕組みです。地域で持っている企業が増えて貸出してくれるといいですね。

今のキャンピングカー事情はざっとこのようになります。私は憧れつつも、まだ購入できていないので偉そうなことは言えないのですが、余力のある方はいかがでしょうか？ 災害時は地域貢献もできそうですね。

※キャンピングカーも移動中はシートベルトの着用と安全走行が必須です。

PROFILE

アウトドア防災ガイド。阪神大震災被災体験とアウトドア知識を生かし、2003年より講演活動を展開。とりわけ、子育てグッズと防災グッズをイコールにしようというアウトドア流の実践的な内容が好評。
“すぐに実践したくなる”“毎日を充実させるヒントがある”と口コミで全国に広まり、毎年の講演回数は全国で100回以上。
『りすの四季だより』（新建新聞社）等著書多数。また現在『リスク対策.com』にて『防災・減災りす便り』をweb連載中。





誤放出による死亡事故ゼロに!

新世代のガス系消火設備『K/SMOKE GAS』

●●● K/SMOKE GAS

ガス系消火設備に代わる、人体に無害な新世代ガス系消火設備「K/SMOKE GAS」(特許出願中)。
環境にも優しいクリーンで安全なガスを放出し、燃焼サイクルを断ち切って消火する画期的なシステムです。

カリウムが燃焼サイクルを断ち切り消火

燃焼サイクルとは、通常、空気中で安定している水素や酸素、水分が不安定化し急速に反応を繰り返す状態。
K/SMOKEはガス化したカリウムが酸素、水素と反応することにより、燃焼サイクルを断ち切ってスピーディーに消火します。



K/SMOKE GASの特長

人体に無害

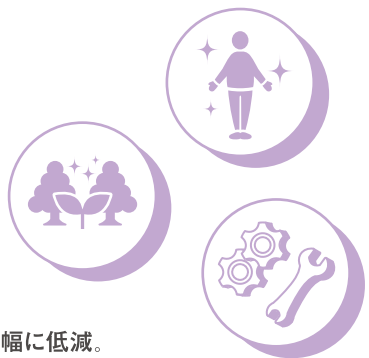
世界初、人体に無害なカリウムが主成分の薬剤を使用。

環境に優しい

使用薬剤は、地球温暖化係数・オゾン層破壊係数が共にゼロ。

施工・メンテナンスの工期を大幅削減

薬剤のボンベ不要で設備が簡略化。施工・メンテナンスの負担が大幅に低減。



死亡事故を繰り返さないために

2020年12月に愛知県名古屋市、2021年1月に東京都港区、そして2021年4月には東京都新宿区で、二酸化炭素消火設備の誤放出により死傷者が出る事故が発生しています。これを受け、消防庁では「二酸化炭素消火設備の放出事故に関する注意喚起」を行っています。

点検作業も安全に

誤作動や誤放出を防ぐため、点検作業は二酸化炭素消火設備を熟知した消防設備士(メーカー推奨)立ち会いのもと行うなど、安全確保を心がけてください。

※K/SMOKE GASの設置は、ルートC(消防法第17条第3項)による申請が必要です。
※設置に当たっては防護対象物に応じた設計を行います。

ぜひ、全種コンプリートに
挑戦してみてください!



ヤマトプロテック製品がガシャポン®に!

ヤマトプロテックの消火設備製品をリアルに再現したカプセルトイ『ヤマトプロテック ミニチュア コレクション』(全6種)が、ガシャポンに新登場!
全国のカシャポン バンダイオフィシャルショップ、玩具売場、家電量販店などに設置されたガシャポンにて9月第1週より順次販売開始しています。

詳しくは当社
HPをご確認ください!



①粉末(ABC)蓄圧式消火器
YA-10NX



②ハイパフォーマンス強化液(中性)消火器
YNX-1.5(プラチナシルバー)



③粉末(ABC)蓄圧式消火器
YA-50XIII



④消火器収納ボックス
10型用 B-1(窓あり)



⑤ソースステップ消火器スタンド



⑥K/SMOKE DEVICE 無電源式
KSM-100NB

“国際物流総合展2024”に出展しました

2024年9月10日(火)~13日(金)、東京ビッグサイトにて開催された“国際物流総合展2024”にヤマトプロテックが出展しました。
国内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトとハードが一同に結集したビッグイベントでした。
当社は物流業界を火災リスクから守るため、人体や環境に無害なガス系消火設備「K/SMOKE」や、フッ素化合物を含まない「OF1シリーズ」、CXシステムⅢ、消火栓の有効活用などを展示しました。

ご来場くださった
皆さま、ありがと
うございました。





現代の消防署につながる「火消」の歴史

江戸時代に発生した数々の大火による被害を教訓として、当時の消防組織である「火消」は進化してきました。今回は、現在の消防署のルーツとなる「火消」の歴史を辿ってみましょう。

書類がないと出動できない

「奉書火消（ほうしょびけし）」

寛永6年（1629年）三代将軍徳川家光の時代、江戸に初めてつくられた消防組織が「奉書火消」。火事が発生した際、老中の名で大名家に「奉書（公式文書）」を送って人員を召集して消火に当たらせていたものです。これは、火事が起こってから奉書を用意して大名に使者を出し、それを受けてから大名が現場に向かう、まどろっこしいシステム。



火は刻一刻と燃え広がっているのに書類がなければ消火隊は出動しないなんて、迅速さに欠けるなんとも呑気な体制です。実際、寛永18年（1641年）の桶町火災では、奉書火消の対応では消火が追いつかず大火災へと発展してしまいました。将軍家光が自ら指揮をとり消火活動を行いました。火はどんどん燃え広がり約2000戸の家屋が焼失。数百人の死傷者を出す結果となりました。

助けにきたぞー



早くきてくれ!!



物々しい行列で出動する

「大名火消（だいまょうびけし）」

桶町火災での反省を踏まえて、寛永20年（1643年）に幕府は16の大名家を指名して持ち場を決め、石高に応じた人足を常駐させる消防組織をつくりました。これが「大名火消」です。江戸城や武家屋敷の消火活動が主な役割で、火事装束を纏って馬に乗った武士が家来や人足を引き連れて火事場に向かいました。

明暦の大火を教訓に生まれた

「定火消（じょうびけし）」

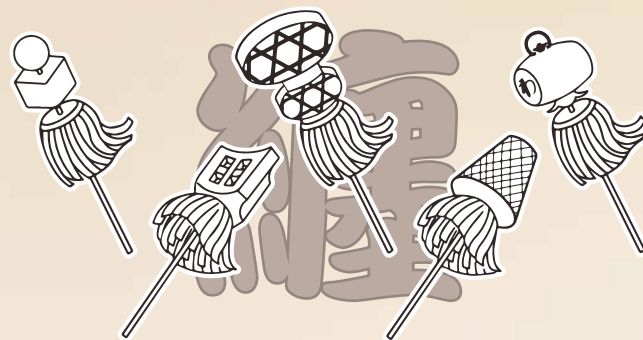
明暦3年（1657年）に、江戸時代最大と言われる被害を出した「明暦の大火」が発生しました。このような大火を再び起こさないため、万治元年（1658年）に誕生したのが、幕府直轄の消防組織である「定火消」です。これは幕府が4人の旗本に命じて組織したもので、旗本それぞれに与力、同心が与えられ、火消人足を雇うための扶持が毎月給付されました。それぞれの定火消役は、飯田橋、市ヶ谷、お茶の水、麹町に火の見櫓を備えた火消屋敷を開設し、役人や火消人足が常駐して消防活動にあたりました。

この「火消屋敷」が、現在の消防署のルーツだと言われています。また「定火消」が誕生した1658年1月4日には、老中率いる定火消4組が上野東照宮に集結して「出初め」を執行。これが現在にも受け継がれている、消防関係者による仕事始めの行事「出初め式」の始まりなのだそうです。

町人のために生まれた

「町火消（まちびけし）」

享保3年（1718年）、江戸で暮らす町人を守るために「町火消」が誕生しました。この消防組織をつくったのは、時代劇でもお馴染みの南町奉行・大岡越前守忠相です。江戸の町を45に組分けし、火消人足の数や消火の担当区域などを細かく決めました。享保15年（1730年）には、「いろは48組」の編成で本格的な町火消制度が発足。いろは48文字のうち、縁起や語呂が悪い「へ、ら、ひ、ん」の文字を省き、代わりに「百、千、万、本」を加えて組名としました。担当地域は隅田川の西側。東側の深川本所には「深川本所16組」も編成されました。



各組では組名が書かれた独自の纏が作られ、混乱する火事場で消火活動の目印として掲げていました。いち早く火事場に駆けつけ、屋根に上がって纏を掲げる纏持ちは、火消の花形。しかし予想以上に炎が燃え広がれば、纏持ちが上っている建物も焼け落ちる危険がある命がけの仕事でした。



副業として出動していた町火消人足

町火消の構成員は消防専門の人ではなくて、その多くは鳶職や仕事師といった土木建設を請け負う仕事者が本職でした。当時の消火活動は、火災が燃え広がらないように建物を打ち壊す「破壊消火」が中心であったため、建物の構造を熟知している土木建設関係者が適任だったようです。普段は土木建設の仕事をし、火事が起こると火災現場に駆けつけて消火活動にあたっていました。



力自慢の土木建設職人たちから成る町火消は、勇敢である一方、気性が荒く喧嘩っ早い者たちが多かったようです。そうした荒くれ者の人足をまとめて組を束ねる「頭取」は、腕っぷしが強くて人望を備えた人物でなければ務まらなかったのだとか。そのため、頭取は普段から町人に頼られる存在として、町内のもめごとの仲裁や町の治安を守る役割も担い、祭りや冠婚葬祭の手伝いなども行う「町の顔役」としても活躍していました。

現代社会は昔に比べてご近所付き合いが希薄になっていますが、町内に頭取のような存在が居れば心強いのではないのでしょうか。特に災害時には、地域の人たちとの助け合いが必要不可欠になります。日頃からご近所さんという関係を築いておくことも、防災対策のひとつかもしれませんね。

16

災害時の避難所トイレの記事が興味深かったです。人間の本当の本来の三大欲求は、食欲・睡眠欲・排泄欲、だそうです。トイレ問題は絶対に避けて通れないものです。改めて準備の大切さを感じたとともに、日頃どれだけ環境が整備されているのかにも感謝したいと思いました。

✉ 東京都 Nさん

【編集室】

三大欲求に「排泄欲」が含まれていたとは知りませんでした。食事や睡眠はある程度我慢できますが、排泄は我慢できない欲求ですね。どこにでもキレイなトイレが当たり前のようにある日本の環境って、本当にありがたい！災害時のトイレ問題は、大切なことだと痛感しています。

推しのライブでよく行っている「Kアリーナ横浜」。ここでもヤマトプロテック設備が使われているんですね。また、防災対策も整えられているという記事も興味深く読ませていただきました。次回のKアリーナは9月です。ステージと共にアリーナの裏側も気になってしまいそうです。見てみたい！

✉ 山梨県 Iさん

【編集室】

「Kアリーナ横浜」で推しのライブを楽しんでいらっしゃるんですね！素晴らしい音響環境でのライブ体験は、想像するだけで興奮します。ライブの思い出とともに、当社の消火設備についても考えていただけると嬉しく思います。

仕事柄「防災レポート」はとても興味深く見させていただいています。変わった構造の防火対象物の消防用設備は、どのように設置されているのかがよく理解できます。

✉ 兵庫県 Mさん

【編集室】

いつもご愛読ありがとうございます。屋内屋外を問わず、消火設備の設置環境はさまざまです。どのような場所にも最適な防火対策をご提案することで、皆さまのご期待にお応えしたいと考えています。これからも各地の設置事例をご紹介しますので楽しみにしててください。

【編集室】

現代は、日常生活では火を使う機会が減っていますが、リチウムイオン電池による火災や金属火災など昔はなかった危険な火災が増えています。時代の変化に合わせてこれからも新しい消火設備を開発し、ヤマトタケルのように防災のシンボルになれるよう頑張りますので応援してください。

先日、ちょっと入院することとなり、少し防災機器が気になり病院内を散策。その時ちょうど機器の定期点検中であり、正常に働いていることに安心しました。しかし、寝たきりの患者さんが避難する際は、看護師さんが多くの患者さんを担当することは確実。もしもの時は手伝えることは率先して関わりたいと改めて痛感しました。

✉ 山口県 Kさん

【編集室】

お身体の具合はいかがですか。病院の防災対策、気になりますね。不安な気持ちを抱えている方が多い場所だからこそ、安全には敏感になると思います。消火器の設置場所や避難経路の確認で、万が一に備える心掛けが何より大切だと感じています。

たくさんのおたより
お待ちしております！



本誌へのご意見・感想や防火・防災のひと工夫・体験談のあれこれをお寄せください。掲載させていただいた方にはオリジナルグッズをプレゼントいたします。ハガキまたは当社ホームページ（Y-MAGAZINEページ内）の送信フォームよりお送りください。



まちがいさがし

上下に同じ絵がありますが、下の絵には上とは異なる部分が11カ所あります。
まちがいの数が一番多いブロックはA～Eのどれでしょう？

A B C D E



応募方法

ハガキにクイズの答えと、住所・氏名・年齢・職業・本誌へのご意見・ご感想をご記入のうえ下記宛にお送りください。

〒108-0071
東京都港区白金台5-17-2
ヤマトプロテック株式会社
Y-MAGAZINE編集室 Quiz Y-Town 係

正解者の中から抽選で数量限定住宅用消火器「YAMATO SAKURA」をプレゼント！

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。当選結果に関する電話やメールでのご質問にはお答えできませんので、ご了承ください。

前号クイズの答え

G

WEBからも応募が出来るようになりました。是非ご利用ください！



<https://www.yamatoprotec.co.jp/contents/magazine/form/>

クイズベ切りは11月1日（当日消印有効）
正解は次号発表します。

※お送り頂きました個人情報につきましては、クイズの当選に関する対応以外には使用いたしません。

編集室

いつまでも厳しい暑さが続き、気分的にはまだまだ夏ですが、暦のうえでは既に秋。まもなく秋の火災予防運動が始まります。期間中は各地で火災訓練や防災イベントなどが開催されると思いますので、積極的に参加して防災意識を高めましょう。夏の疲れが残らないよう、体を労ってお過ごしください。